

感染拡大デマ相次ぐ

小樽市内 不安、情報不足が背景

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、うそのうわさが広がるケースが小樽市内で相次いでいる。臨時休園した幼稚園が「園児が感染した」とデマを流されたり、通院患者の感染が確認された歯科医院が「スタッフも感染した」と拡散されたりする例があった。いずれも事実ではなく、関係者は風評被害に苦しむ。デマが流れる背景には、市民の不安な心理や情報不足があるとされ、専門家は「行政による適切な情報提供に加え、市民自らにも情報を見極める力が求められる」と話す。

専門家「真偽見極めて」

市内富岡1のリース幼稚園は、高田昌和園長(57)が牧師を務める教会が改装中のため、6月28日の礼拝を回園のホールで行った。その直後、新型コロナウイルス感染者が利用していた高齢者施設に、礼拝の参加者が通っていたことが判明。感染者は回園を訪れていないが、万が一を考えた回園は20日から3日間休園し、保護者に文書で説明した。

感染者は市内でクフスタ1(感染者集団)に認定された日中のカラオケ「屋方」で関連だった。その後、高齢者施設で感染は広がらなかったが、園の休園直後から「園児が感染」とするデマが入つてに広がり、今も消えていないという。高

田園長は「誤解されて大変遺憾」と困り果てる。

市内のある歯科医院は6月下旬に診察した患者が後日、新型コロナウイルスに感染したと市保健所から連絡を受けた。患者は来院時は無症状。医院ではスタッフのフェースシールド着用など感染対策を徹底しており、歯科医らもPCR検査の結果、陰性と判明した。

だが、歯科医が健康観察で2週間自宅待機すると「〇〇歯科でコロナが出た」「歯科医が感染した」など事実無根の話が周辺で拡散。診療予約のキャンセルも相次ぎ、歯科医は「事実ではないのに」と苦悶する。これらは会員制交流サイト(SNS)などを通して

不特定多数の人に拡散するのはなく、幼稚園や歯科医院などの具体的な名前を知る人同士が地域社会で広がってしまうデマだ。

小樽商大の杉山成教授(心理学)は「情報は人から人へと伝達される中で内容が歪曲されたり誇張されたりする傾向がある」と指摘。「幼稚園で感染が起これたら大変だ」という不安が、多くの人に連鎖的に伝わり、いつの間にか『幼稚園で感染者が出た』というデマになってしまふことがある」と説明する。

一方、行政の情報提供のあり方も問われる。市はクフスタ1が発生した市内の Snackbar 3店のうち2店の店名を非公表としたが、市民への情報不足は「〇〇の店が怪しい」といったうわさの流布にもつながった。

杉山教授は、情報の公開により批判や攻撃が集中するリスクもあるため慎重な扱いが必要としつつ、「市民も情報を見極める力を身につけ、デマが流されたら直ちに明確に否定することが重要だ」と話した。

小樽商大 ビジネススクールで9月にオンライン開講する、介護・医療従事者向け講座「ヘルスケア×マネジメント」コーラス」運営を担当「ケアを提供し続けていくためには現場だけでなく、業界外部の動向を読み解く経営的視点も重要」

介護・医療分野は制度見直しや報酬改定、ICT化といったさまざまな環境変化が多

小樽商大大学院商学研究科
藤原 健祐 准教授



い。事業者には多様化する社会ニーズへの対応も求められ、保険外など新規事業を考える事業所はもろろん、そこに関心のない事業所こそ、外部環境に左右されにくいマネジメント力が必要」と強調。講座は現場業務、経営を結ぶ市民公開講座

営に携わる管理者にミドルマネジメント層が対象。社会課題解決と運営継続のための利益創出を両立できるシステム構築能力を養うのが狙いだ。

「健康」をキーワードに地域住民と医療機関を結ぶ市民公開講座

外部環境読み解く経営的視点を

を例に挙げれば、病気の無い人には縁の薄い介護・医療でも、予防の側面から興味、関心を持ってもらうことで、新たな価値を生み出す顧客との接点ができるという。11日には講座を紹介する無料オンラインセミナーを実施詳細は<https://obsod-and.ac.jp/>。診療放射線技師として10年ほど病院に勤務。医療経営を学んだため大学院に進み、保健科学博士、経営学修士取得。2019年から現職。

「アインベーションセミナー」はポストコロナ社会を拓く新たなヘルスケア産業創出」を、11日午後1時半からオンラインで開く。

中谷純北大保健科学研究所客員教授が「Post Corona New Normalからスタートする医療・介護分野の未来」と題して基調講演するほか、経済産業省担当者がヘルスケアイベントチャーターを中心とした支援施策、同協議会がヘルスケア産業創出の取り組みを紹介。

藤原健祐小樽商大ビジネススクール准教授が、同スクールの健康・医療イノベーションエコシステム構築について情報提供する。

参加無料。申し込み締め切り7日。

問い合わせは事務局

(北海道二十世紀総合研究所) 011-23

1-3053 (担当・清

家氏、佐治氏)。

ヘルスケア
セミナー

11日に開催

道経済産業局、小樽

商大、道ヘルスケア産業

振興協議会が「ヘルスケ